

報告第26号

平成29年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並び
に決算の報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成29年度
一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに決算について、別
紙のとおり報告する。

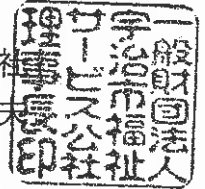
平成30年9月18日提出

宇治市長 山 本 正

0一財字福公第 328 号
平成 30 年 8 月 10 日

宇治市長 山本 正 様

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理 事 長 岡 本 民 夫



平成 29 年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社

事業報告書及び決算報告書の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市福祉サービス公社の理事会及び評議員会において別添の通り承認されましたので報告いたします。

理事会議案第1号
評議員会報告第3号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成29年度事業報告書」について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社平成29年度事業報告を次のとおり報告する。

平成30年5月28日 理事会 提出・承認
平成30年6月19日 定時評議員会 報告

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 岡本 民夫

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

平成 29 年度

事業報告書

目次

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括	1
重点項目実施状況	2
社内研究発表会一覧	4
II 理事会・評議員会等開催状況	
(1) 理事会開催状況	5
(2) 評議員会開催状況	7
III 役員・評議員等名簿	8
IV 事業実績	
(1) 公社独自事業	9
(2) 介護保険事業	16
(3) 障害者総合支援事業	20
(4) 宇治市受託事業	22

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括

平成29年度は、前年度末に公社設立20年が経過した中で、次の10年、20年を見据えた事業展開を図っていくため、改めて公社使命を再確認の上で、利用者や市民の期待に応えるべく新たな役割に向け、「俯瞰図的な視野からの時代に即した実践活動」というキャッチフレーズのもと、それぞれの事業に鋭意取り組んだ。

公社の主要事業である「公社独自事業」、「介護保険事業」、「障害者総合支援事業」、「市受託事業」の4本柱の事業をそれぞれの確に遂行するとともに、事業計画にも掲げていた①「介護予防・日常生活支援総合事業」の充実に向けた取り組み、②「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた取り組み、③一般財団法人移行後の柱でもある「地域密着型事業」の継続的な取り組み等についても、宇治市や宇治市社会福祉協議会をはじめとする関係機関や諸団体との連携・協力のもと、着実に成果をあげることができた。

一方、多種・多様化する事業運営をこれからも継続・安定的に、そして更なる発展に向けて推進していく上で課題も顕著化してきており、特に事業運営を支えるマンパワーの確保には苦戦を強いられ、処遇改善をはじめ様々な対策を打ったものの具体的な成果には繋がらなかった。この厳しい状況乗り越えていくためには、更なる良質な職場環境づくりに向けた諸整備等をあらゆる角度から全力で粘り強く取り組み、利用者・市民・地域等のニーズに対して的確に対応できる体制を整えていくことが急務となっている。

また、公社の財務状況は、平成24年度、25年度を境に悪化傾向にあり、特殊要因で若干の差異はあるものの単年度収支計算書で実質的な赤字決算が続いている。そのような状況下にある中で、当期においても厳しい状況を抜け出すことができず、最終的に収支計算書で13,640千円の赤字、正味財産増減計算書で18,490千円の減少という公社設立以来最大の厳しい決算となった。

更に、今後数年間にシステムやパソコンの更新等新たな投資的経費が必要となるとともに、平成25年度から12年計画でスタートした公益目的支出計画についても、計画よりもかなり早い進捗状況にあり、残り2、3年で実施完了となる可能性も出てきている。

こういった財務状況を踏まえると、数年後には非常に厳しい経営状況に陥ってしまうことが危惧されるため、今年度3月に「経営改革5カ年計画」を策定し、公社の組織体制や給与・報酬体系の見直し、既存事業の再検討や新規事業の研究等、あらゆる角度から「最小の経費で最大の効果」が出せるように経営改革に着手することとした。この計画に基づき、改革を確実に実施することにより、財務健全化が図れ、安定的な経営に繋がっていくものと考えており、役職員一丸となって取り組んでいくことにしている。

公社を取り巻く情勢は公社設立以来最大の厳しい状況下にあるが、次の10年、20年を見据えた飛躍の機会と捉え、計画的に経営改革を推進するとともに、引き続き宇治市域における在宅保健・福祉サービスのパイオニア的役割を果たせるよう更なる充実・向上に取り組んでいく所存である。

重点項目実施状況

平成 29 年度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

(1) 多種・多様化する社会情勢を視野に入れた柔軟且つ効率的な事業所運営を推進する。

① 利用者・市民・地域ニーズへの確に対応する事業開拓の推進。

新総合事業への移行に伴う事業への影響については、特段の混乱もなく比較的スムーズに移行することができた。

宇治市社会福祉協議会との合同プロジェクトについても、初年度のプロジェクトで取り組んだ 2 つの事業（種別を超えた福祉・医療・行政等関係者の合同勉強会の開催、介護離職をテーマとした企業向けセミナーの企画・実施）を柱に取り組み、それぞれに成果をあげることができた。

平成 30 年度の介護保険制度改正を見据えて「介護保険改正等対策プロジェクト」を立ち上げ、現場レベルから介護保険改正等、公社の経営に様々な影響を与える事象に柔軟に対応していくための方策等を検討する取り組みも行った。

② 地域包括ケアシステムの構築に寄与する事業開拓の推進。

地域密着型事業については、例年通り事業所ごとに地元の学区福祉委員会をはじめとする地域団体等との連携により、地域福祉のつどいやコミュニティカフェを開催し、地域に根差した取り組みを行った。

公社内においても、事業所や係を超えて職員相互に日ごろの業務や課題について胸襟を開いて意見交換し合う場とする社内ネットワーク会議を開催した。

(2) 公社の独自性を発揮した公共的・有効的な事業運営を推進する。

① 「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた取り組みの推進。

「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて平成 25 年度から宇治市の委託を受けて取り組んでいる宇治市初期認知症総合相談支援事業では、宇治市や京都府立洛南病院、宇治おうばく病院をはじめとする市内の医療・福祉関係諸団体との連携はもとより、宇治市認知症アクションアライアンスれもねいど加盟の民間企業、ボランティアとして協力をいただく「れもねいだー」の皆様との共働による取り組み等、年々事業の裾野が広がっている。

こうした中、認知症当事者・家族の主体的な活動に事業の枠を超えてサポートを行う取り組みも生まれ、公社としてこれらの取り組みに関与した。

これらの取り組みを通し、京都府内外から認知症関連施策についての講師派遣依頼や調査研究への協力要請もあり積極的に協力した。

また、京都認知症総合センターの運営推進会議（コア会議）へも担当職員を派遣した。

② 地域密着型に基軸を置いた公益目的事業への取り組みの推進。

平成 29 年度からの総合事業への完全移行を見据えて、平成 27 年度、28 年度の 2 力年にわたり宇治市の委託を受けて取り組んだ宇治市生活支援体制整備事業では、主に住民主体による新たな地域における支え合い活動やそのために必要なマンパワー養成に取り組んできた。

こうしたことを踏まえて今年度より宇治市社会福祉協議会と共同で生活支援コーディネーターの業務委託を受け、引き続きマンパワー養成と住民主体型サービスの立ち上げ支援に取り組んだ。

併せて、所謂第一層協議体、第 2 層協議体（宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議）の設置、運営についても主担当である宇治市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携を図り取り組んだ。

(3) 働き甲斐・働きやすさが両立する職場環境づくりを推進する。

① 「きょうと福祉人材育成認証事業所」、「ワーク・ライフ・バランス認証事業所」として相応しい更なる良質な職場環境づくりに向けた取り組みの推進。

今年度も人材確保については契約ホームヘルパーをはじめ介護職員の採用には苦心したが、現在公社で勤務する職員が継続して働き甲斐を持って勤務できるように、介護保険事業、障害者総合支援事業における処遇改善加算を用いて賃金等処遇の向上に努めた。

また、働きやすい職場環境づくりをめざし、衛生委員会や福利厚生委員会を中心に職場の衛生管理と福利厚生面の充実を図るよう、会議の開催や職員の親睦を深める企画を実施するとともに、産業医と連携の上、職員のメンタルヘルス面でのサポートも行った。

「きょうと福祉人材育成認証事業所」の上位認証の取得に向けた準備に関しては、情報収集にとどまった。

② 「人材育成計画」に基づく人材の計画的な確保・育成に向けた取り組みの推進。

第 2 期人材育成計画に基づき、経験年数別に外部研修への積極的な参加を推進するとともに、次年度に向けて職員が目標管理シートを作成し、これに基づき所属長とのヒアリングを実施した。

キャリアパス用件の見直しや人事考課制度の見直しに向けての検討作業については、次年度への持越しとなった。

③ 職員の処遇改善、職場環境の諸整備に向けた取り組みの推進。

国の介護保険事業、障害者総合支援事業における処遇改善加算を効果的に活用し、引き続き給与面等の処遇改善に最大限努めた。

また、経験やスキル到達度に応じた人材登用等、職員一人一人の頑張りや、努力に応じて社内でのキャリアアップが図れる制度設計に向けても現在検討しているところである。

社内研究発表会一覧

東宇治事業所 平成 29 年 12 月 8 日（金）開催

地域包括支援センター係	「平成24年8月京都府南部地域豪雨災害～地域の現状と今後に向けて～」
ケアマネジメント係	「効率的な仕事を目指して」
ヘルプサービス係	「業務効率化のためのシステム導入～新しい未来のために～」
デイサービス係	「One for all, All for one. ～スキルアップを目指して～」

西小倉事業所 平成 29 年 12 月 21 日（木）開催

地域包括支援センター係	「相談実績から地域課題を考える～社会福祉士の研究発表～」
ケアマネジメント係	「新化の過程」
ヘルプサービス係	「訪問介護による喀痰吸引等の実施」
デイサービス係	「8：30～17：15（17：30）で終わる、デイ日常業務の構築」

広野事業所 平成 30 年 1 月 18 日（木）開催

ケアマネジメント係	「福祉サービス第三者評価を受けるにあたり気付いたこと」
ヘルプサービス係	「ヘルプの質を高めるための取り組みを考察する。ヘルパーアンケートを用いた現状分析」
デイサービス係	「歌う門には福来る、歌って笑って今日も元気パート2」

中宇治事業所 平成 30 年 1 月 29 日（月）開催

総務係	「自己啓発のすすめー会社から職員に向けたサポート体制の必要性ー」
地域包括支援センター係	「認知症初期集中支援チームの役割・効果と包括的支援事業との協働 ～事例を通して～」
介護予防サポートセンター係	「健康長寿へー直線体操 さあ出発進行！！」
福祉情報センター係	「福祉情報センター各事業の報告と提言」
障害者相談支援センター係	「障害者相談支援センターの現状」
ケアマネジメント係	「夫婦 2 人の穏やかな生活を願ったケアマネの想い」

II 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第32回 理事会 [平成29年4月1日開催] (みなし理事会)

議案第1号	「専務理事の選定」について
-------	---------------

第33回 理事会 [平成29年5月25日開催]

議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成28年度事業報告書(案)」について
議案第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成28年度決算報告書(案)」について
議案第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成28年度公益目的支出計画実施報告書(案)」について
議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 定款」の一部改正について
議案第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 顧問及び参与の委嘱等に関する規程」の制定について
議案第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第8号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 個人情報保護規程」の一部改正について
議案第9号	「第13回評議員会の招集」について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「平成29年度地域力助成事業」について
報告第3号	「平成28年度事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第4号	「平成29年度夏季賞与、特別賞与の支給」について

第34回 理事会 [平成29年6月16日開催]

議案第10号	「代表理事(理事長)及び副理事長並びに専務理事」の選定について
議案第11号	「顧問の委嘱」について

第35回 理事会 [平成29年7月3日開催] (みなし理事会)

議案第12号	「第14回評議員会の開催」について
議案第13号	「平成29年度地域力助成事業(助成団体)の採択」について

第36回 理事会 [平成29年8月2日開催]

報告第5号	「理事長等執務報告」について
報告第6号	「平成29年度第1.四半期収支実績」について
報告第7号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について
報告第8号	「平成29年6月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について
報告第9号	「宇治市長への要望書の提出」について

第37回 理事会 [平成29年9月20日開催] (みなし理事会)

議案第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
--------	---

第38回 理事会 [平成29年11月8日開催]

議案第15号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 育児・介護休業規程」の一部改正について
報告第10号	「理事長等執務報告」について
報告第11号	「平成29年度上半期収支実績報告」について
報告第12号	「平成29年度冬季賞与、特別賞与の支給」について
報告第13号	「平成29年度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第14号	「平成29年9月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について

第39回 理事会 [平成30年1月24日開催]

報告第15号	「理事長等執務報告」について
報告第16号	「平成29年度第3四半期収支実績報告」について
報告第17号	「財務健全化に向けての検討(案)」について
報告第18号	「平成30年度事業計画書(案)の概要」について

第40回 理事会 [平成30年3月26日開催]

議案第16号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 経営改革5カ年計画(案)」について
議案第17号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度事業計画書(案)」について
議案第18号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度収支予算書(案)」について
議案第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第20号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第21号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第22号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局組織規則」の一部改正について
報告第19号	「理事長等執務報告」について
報告第20号	「平成29年度収支決算見込み」について

(2) 評議員会開催状況

第12回 評議員会 [平成29年4月1日開催] (みなし評議員会)

議案第1号	「理事の選任」について
-------	-------------

第13回 定時評議員会 [平成29年6月16日開催]

議案第2号	「理事の選任」について
議案第3号	「監事の選任」について
議案第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 定款」の一部改正について
議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成28年度決算報告書(案)」について
議案第6号	「評議員の選任」について
報告第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成28年度事業報告書」について
報告第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成28年度公益目的支出計画実施報告書」について
報告第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 顧問及び参与の委嘱等に関する規程」の制定について
報告第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 個人情報保護規程」の一部改正について
報告第6号	「理事長等執務報告」について
報告第7号	「平成29年度地域力助成事業」について
報告第8号	「平成28年度事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第9号	「平成29年度夏季賞与、特別賞与の支給」について

第14回 評議員会 [平成29年8月2日開催]

報告第10号	「理事長等執務報告」について
報告第11号	「平成29年度第1四半期収支実績」について
報告第12号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について
報告第13号	「平成29年6月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について
報告第14号	「宇治市長への要望書の提出」について

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1) 役員名簿（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	備考
理事長	岡本 民夫	同志社大学名誉教授
副理事長	奥西 隆三	宇治市社会福祉協議会会長
専務理事	栢木 利和	宇治市福祉サービス公社理事
理事	五艘 雅孝	有識者
理事	塚原 理俊	有識者
理事	有賀やよい	医師
理事	池田 正彦	宇治東福祉会理事長
理事	笹部 和男	弁護士
理事	藤田 佳也	宇治市健康長寿部部長
理事	山崎 彰	宇治市連合喜老会副会長
監事	土肥 誠	宇治市会計管理者
監事	服部 広志	京都銀行宇治支店長

顧問	伊藤 義明	前宇治市福祉サービス公社副理事長
----	-------	------------------

(2) 評議員名簿（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	備考
評議員	大西 幸江	宇治市女性の会連絡協議会役員
評議員	岡野 英一	龍谷大学特任教授
評議員	門阪 庄三	宇治久世医師会副会長
評議員	寺澤耕一郎	宇治市民生児童委員協議会理事
評議員	大下 勝宣	宇治市健康長寿部副部長
評議員	船川 菊枝	宇治市シルバー人材センター理事

(3) 第三者委員名簿（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	備考
委員	山口 勲	
委員	山北千代子	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対するの第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

<定款第4条(1)> 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

<定款第4条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

<定款第4条(10)> 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【赤い羽根共同募金の街頭活動で募金を呼びかけるぽっぼ】

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

公社会員の状況

＜平成29年度会員数＞ 賛助会員（法人会員 30 団体 ・ 個人会員 71 名）

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」(各 3,000 部発行) を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第41号(平成29年7月発行)

「新入職員紹介」「事業所通信」「公社が宇治市と取り組む れもねいど活動」他

第42号(平成30年1月発行)

「理事長年頭挨拶」「にしおぐら だれ?どこ!プロジェクト」「新春お年玉クイズ」他

講師派遣

「ほほえみ介護塾」をはじめ、様々な講習会等に職員を派遣し、在宅保健福祉サービスについての知識の普及啓発を行った。

◆実績

派遣内容	派遣回数
介護塾講師	34
サポートセンター出張講座講師派遣(地域団体、学校)	32
認知症関連講演会等講師派遣	14
宇治市生活支援員(39支援員)養成講座	10

弁護士による相談事業

高齢者や障害者、その家族を対象に、弁護士による予約制(月1回)の法律相談を実施した。

◆実績

(実施日) 月1回(原則第4木曜日)午後2時~4時30分

(実施場所) 奇数月…西小倉地域福祉センター 偶数月…東宇治地域福祉センター

(延相談者数) 30名

(相談内容例) 相続…12件 / 遺言…6件 / 家族関係…4件

成年後見…2件 / 交通事故…3件

情報の収集と提供

公社情報誌「ぼっぼ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報提供を行った。

また、インターネット上における介護関係の情報収集に努め、各職員に周知を図るとともに、事業所ブログ（年間更新 201 回）や Facebook や Twitter、Instagram を活用して、公社の取り組みや最新情報の発信に努めた。

公社イメージキャラクターの「ぼっぼ」の着ぐるみを公社主催イベントや赤い羽根共同募金街頭活動等で使用し公社の PR に活用した。

<定款第 4 条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

家事援助サービス（自主サービス）

介護保険法では対応できない院内介助等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

◆実績

（単価）生活援助<350 円/15 分>・身体介護<450 円/15 分>

	西小倉	東宇治	広野	計
実人員	13	8	9	30
派遣回数	170	304	33	507

福祉人材研修事業

1) ほほえみ介護塾

平成 28 年度は年 2 回の開講予定であったが、受講者が集まらなかったため 1 回のみ開講であったことを踏まえ、今年度は年 1 回で開講した。

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況にも関わらず、ここ数年、ほほえみ介護塾の受講希望者だけでなく、受講修了者の当社への入職者も低迷していることから、受講者募集ならびに入職につながる取り組みが必要となっている。

◆実績

実施時期	7月7日（金）～ 10月23日（月）
受講者数	6
修了者数	6
入職者数	0

2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

介護予防事業「パワリハトレーニング教室」「スロートレーニング教室」「まるごとトレーニング教室」「あたマイキキ教室」「パワリハぷらすコース」「トータルぷらすコース」を支援するサポーターの育成や、既にサポーターとして活躍している方々の研修の場として、健康づくりのテーマと実施事業の紹介を行った。

◆実績

開催日	テーマ	参加者数
6月29日	安全にできる運動で、こころもからだも健康アップ!	53
9月27日	お互い支えあうサポートでいきいき活動しよう!	44
1月18日	いつまでも自分らしく! 転倒予防の体操講座	87
3月29日	体操と栄養で体力を維持しよう!	66

3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャーからの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や住環境改善等のアドバイスを行った。今年度は、相談支援専門員や包括職員からの住環境改善・福祉用具選定や運動指導の相談に加え、広野デイサービスから機能訓練実施環境の変更に伴う運動プログラムの見直し依頼があり、2月～3月に15件の運動指導を行った。以下の実績は公社内のサポート件数だが、公社外の関係機関（訪問看護ステーション）からの相談にも3件対応した。

◆実績

	個別リハビリ指導
実施回数	24

財産保全・管理サービス

宇治市在住の概ね65歳以上の方で、身体の障害や、判断能力が不十分なために、日常生活を営むことが困難である公社利用会員を対象に、公社が契約した貸金庫にて、重要書類（有価証券、権利書等）を預かるサービスであるが、ここ数年は問い合わせも利用実績もなく、今後の事業見直しを検討中である。

輝き支援事業

平成 17 年度から平成 26 年度までの 10 年間に亘り、宇治市委託事業として取り組んできた「輝き支援 2015～高齢期支援システム創造事業～」の後継事業として、公社公益目的事業として実施した。

1) 講座

これまで開催してきた市民講座の中で、特に継続の要望の高かった人気講座を中心に開催した。

◆実績

実施事業名	実施回数	延参加者数
青春歌声広場	12	587
こだわり料理教室	12	183

2) 活動支援

◎地域の美化活動支援（ガーデニングボランティア）

西小倉地域福祉センター及び公社中宇治事業所近くの空き地（「ぼっぼガーデン」と命名）の 2 カ所の花壇を、ガーデニング教室から派生したガーデニングボランティアの皆さんと、春・秋の花壇の設計、植え替えを中心に、4 月～11 月は月 2 回、12 月～3 月は月 1 回管理作業を行った。

また、府立宇治支援学校高等部の協力も得て、生徒とボランティアが協働で活動した。

◎コーヒーボランティア活動支援

「おいしいコーヒーの淹れ方教室」の受講者が、教室で学んだコーヒーの淹れ方の技術を活かして、公社が主催、協力するイベントの他、宇治ボランティア活動センター主催の「ボランティアマッチングサロン」の喫茶コーナーで喫茶活動を行った。

◎自主グループの継続支援

昨年度までの輝き支援事業での各種講座がきっかけとなり誕生した自主グループ、「旬菜クラブ」「楽菜クラブ」「鱈菜クラブ」「楽歩会」「旅サークル」「写遊会」「青春同好会」の定例活動を支援した。

◎FOREVER FOLK in 宇治の継続

過去 12 回にわたり開催してきた「FOREVER FOLK in 宇治」のこれまでの出演者・スタッフで独立した団体として立ち上がった『宇治市フォークソング愛好会 FOREVER FOLK』の活動として、「愛好会の集い（音タイム）」を 2 ヶ月に 1 回の計 6 回開催した他、地元福祉施設、地域のイベントでの演奏活動、公社のイベント協力を実施するにあたり、会場の提供、物品の貸し出し等の支援を行った。

そして、自主団体として3回目の主催となる「第15回 FOREVER FOLK in 宇治」を平成29年11月19日に宇治市生涯学習センターで開催し、150名近い参加者を得て、成功のうちに終了した。

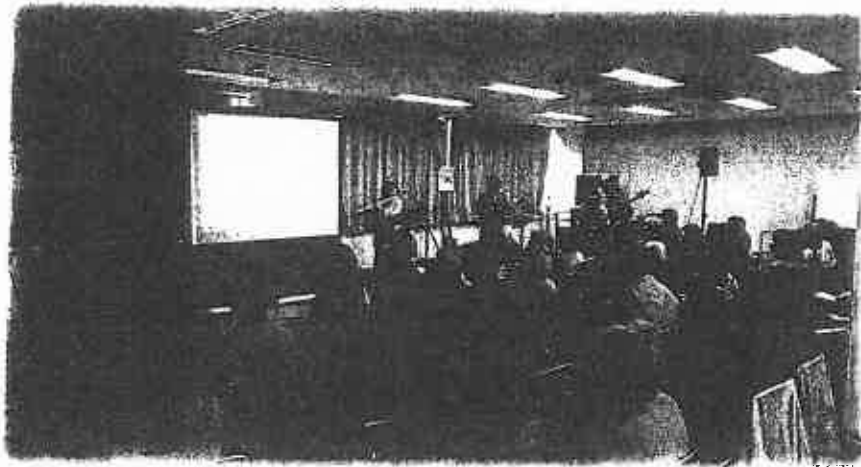
更に、京都府立山城総合運動公園太陽ヶ丘と公社とで、地域連携、協働事業として覚書を締結し、『愛好会』と協働して太陽ヶ丘を活用しての地域の魅力創出のためにも貢献した。

3) 共催事業

宇治市生涯学習センター、宇治ボランティア活動センターと共催で、『仕事に没頭していた現役時代を卒業し、今までとは違った地域社会での活動や余暇の時間の活用を模索されている方』を対象に、生涯学習やボランティア活動等について紹介し、参加者同士の交流と活動に参加するきっかけ作りにつなげるための「はじめよう！セカンドライフ」を行った。

◆実績

開催日	内容	参加者数	場所
6月16日	新しいことはじめ～身近にできること・やりたいこと・楽しいこと～ 加藤博史氏（龍谷大学短期大学部教授）	21	宇治市生涯学習センター
6月30日	豊かな時間の過ごし方ヒント～3つのお話から～ 黒田勝明氏（宇治スポーツ吹矢クラブ） 松井芳子氏（手話サークル茶だんご） 森田隆夫氏（セカンドライフ夢を語る会）	23	
10月6日	新しいことはじめ～身近にできること・やりたいこと・楽しいこと～ 八木隆明氏（龍谷大学非常勤講師）	23	
10月20日	豊かな時間の過ごし方ヒント～3つのお話から～ 山本理恵子氏（遊びの学校運営委員会「遊び研究会」） 丸山嘉雄氏（情報紙編集委員） 平野紀正氏（楽環クラブ）	13	



【輝き支援の事業で毎月開催している「歌声広場」】

＜定款第 4 条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業

地域力助成事業

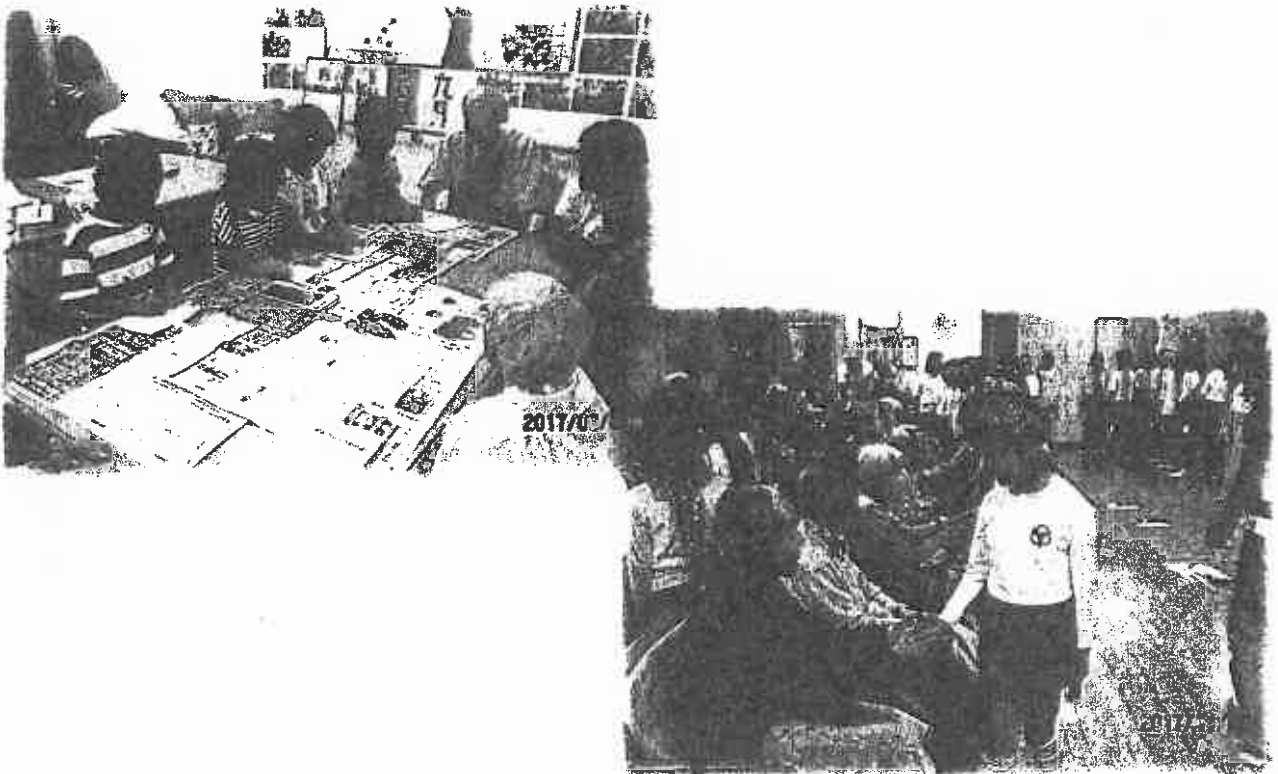
地域住民が主体となって、地域力の向上や地域福祉の向上を目指して活動している 1 団体に対して、活動を支援するために総額 500 千円の助成を行うことにより、福祉のまちづくりの原動力となる地域力の育成に寄与することができた。

◆実績

助成団体名	助成事業内容
特定非営利活動法人 「まちづくりねっと・うじ」	授産施設で作る製品の販売促進支援事業 500 千円

介護保険事業

- <定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業
- <定款第4条(4)> 訪問介護、介護予防訪問介護に関する事業
- <定款第4条(5)> 通所介護、介護予防通所介護に関する事業
- <定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業



【デイサービスセンターで地域の保育園、小学校との多世代交流】

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

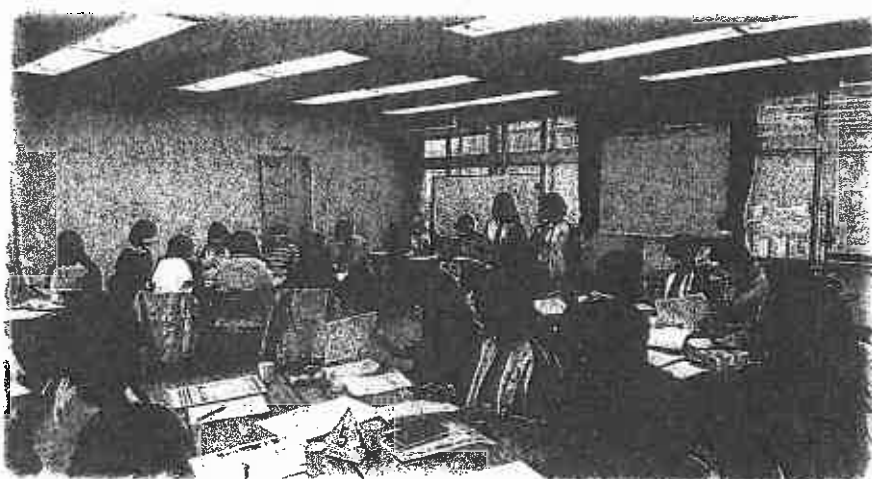
居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計
介護支援専門員数	5	5	5	3	18
延給付管理件数	2,036	2,320	2,194	877	7,427
事業対象者	0	0	33	0	33
要支援1	10	142	203	107	462
要支援2	152	119	288	66	625
要介護1	618	992	724	409	2,743
要介護2	578	570	523	183	1,854
要介護3	418	282	220	66	986
要介護4	126	162	164	42	494
要介護5	134	53	39	4	230
一人当たり給付管理/月	32.6	36.5	32.2	22.0	31.8

※一人当たり給付管理は、予防給付等（事業対象者・要支援1・2）については1/2件でカウント



【公社内のケアマネジャーと地域包括支援センター職員の合同研修会】

<定款第4条(4)> 訪問介護、介護予防訪問介護に関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			西小倉	東宇治	広野	計
* 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	488	394	468	1,350
		延派遣回数	6,695	4,920	6,979	18,594
	身 体・生 活	延利用人数	145	342	262	749
		延派遣回数	921	3,253	1,663	5,837
	生 活 援 助	延利用人数	874	507	913	2,294
		延派遣回数	6,131	3,986	7,814	17,931
* 予 防 給 付	予 防 介 護 I (週1回程度の訪問)	延利用人数	200	304	419	923
		延派遣回数	758	1,141	1,583	3,482
	予 防 介 護 II (週2回程度の訪問)	延利用人数	91	108	107	306
		延派遣回数	718	878	859	2,455
	予 防 介 護 III (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	15	5	0	20
		延派遣回数	182	52	0	234
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	25	32	13	70
		延派遣回数	114	82	47	243
計		延利用人数	1,838	1,692	2,182	5,712
		延派遣回数	15,519	14,312	18,945	48,776

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

<定款第4条(5)> 通所介護、介護予通所介護に関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

認知症対応型デイサービスにおいては、宇治市内の8カ所のセンター間で、各々の課題について情報交換を行い、資質の向上を図る為の連絡会が開催され、「認知症の人にやさしいまち・うじ」の取り組みにちなんで、「れもんデイサービス」という統一名称を用いることになった。

また、家族（介護者）に対しても身体的・精神的介護負担の軽減を図れるようサポートした。

◆実績

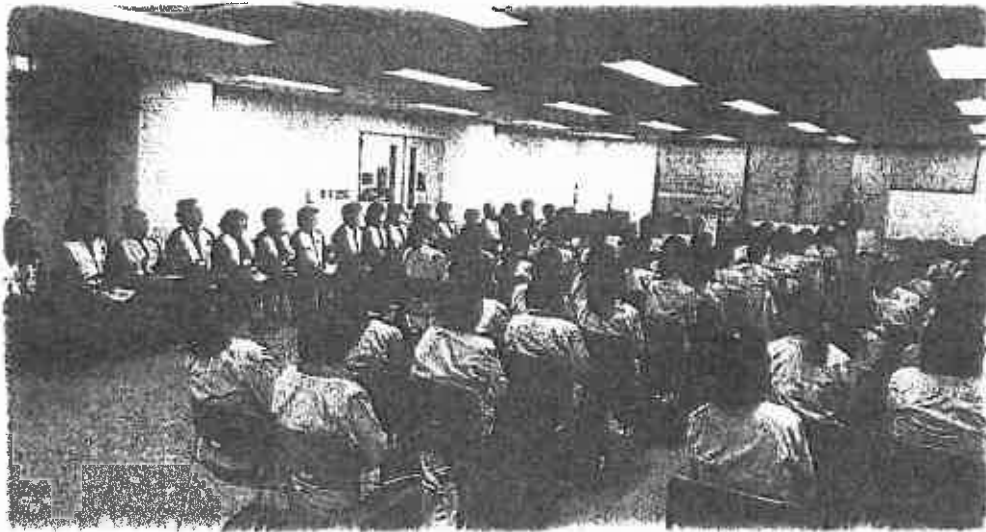
施設区分	西小倉		東宇治		広野	計
	通常型	認知症型	通常型	認知症型	通常型	
定員	25	10	25	10	23	93
運営日数	361	310	360	309	361	
延利用人員	7,489	1,564	7,914	1,248	6,378	24,593
事業対象者	58	0	48	0	0	106
要支援1	103	0	176	0	190	469
要支援2	937	0	653	0	279	1,869
要介護1	2,106	297	2,617	178	2,410	7,608
要介護2	1,873	231	2,722	444	1,091	6,361
要介護3	1,481	630	1,289	236	1,547	5,183
要介護4	533	324	361	194	607	2,019
要介護5	398	82	48	196	254	978
1日平均人数	20.7	5.0	22.0	4.0	17.7	

※東宇治事業所については、ポンプ取替等設備工事による断水のため1日休業

障害者総合支援事業

<定款第4条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業



【在宅福祉を支える力強い存在のホームヘルパー】

<定款第4条(7)・(8)> 障害者・障害児福祉サービスに関する事業

居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	計
実利用者数	41	42	33	116
派遣回数	4,962	3,985	3,808	12,755
派遣時間	4,566	6,090:45	3,300	13,956:45

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	計
実利用者数	6	5	4	15
派遣回数	76	557	62	695
派遣時間	83	279:45	102:30	465:15

障害者相談支援センター

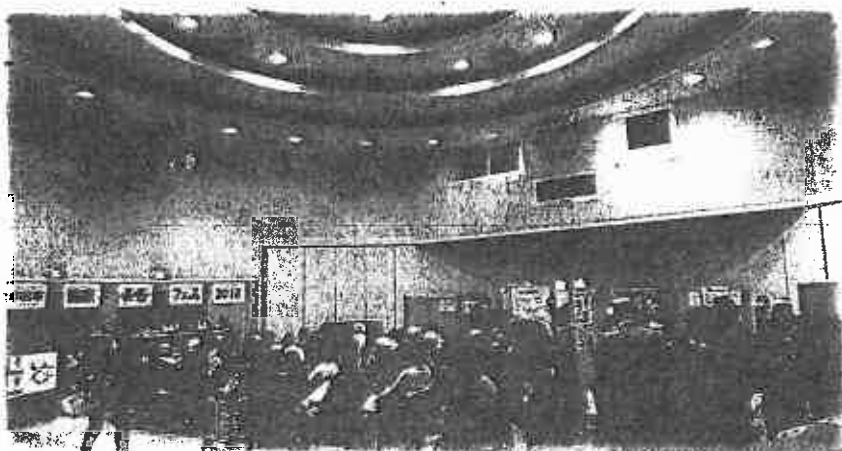
在宅サービスを利用する障がい児・者に対しての計画相談が必須となっていることから、これに対応するために2名の相談支援専門員を配置して事業にあたった。

◆実績

	サービス利用計画作成
総件数	590
実人数	63

宇治市受託事業

〈定款第4条(9)〉 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【住民主体の地域の支え合い活動を紹介する健康長寿フェス2018】

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業

訪問指導事業

1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であるが、今年度より通所型が廃止になり、これまで多かった機能訓練事業への参加導入に向けた事前のアセスメント等がなくなったこともあり、十分な広報も行えず対象者が挙がらなかった。

2) 訪問型短期集中予防サービス（訪問型トータルケアコース）

総合事業への移行に伴い、二次予防事業の訪問型介護予防事業は廃止となった。新たに、短期集中予防サービスに訪問型トータルケアコースが設けられ、そのうちの運動面での支援について委託を受けた。地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者6回のうちの運動プログラムに対して、健康づくりに役立つ運動等の支援を行った。

◆実績 延べ 97件（実人数 25件）

機能訓練事業

1) 機能訓練事業（健康増進法に基づく事業）

これまで実施してきた40～64歳の健康増進法に基づく通所型機能訓練事業は、廃止となった。

2) 通所型介護予防事業

総合事業への移行に伴い、これまで行ってきた二次予防事業は一般介護予防事業となり、65歳以上の宇治市民が対象となり、市政だよりで応募し抽選で決定した対象者に対して行った。前期は、前年度から期間満了に満たなかった二次予防事業対象者が残っており、今年度の一般介護予防事業対象者と混ざる形での実施となった。

教室内容は同じものが継続となるが、制度の変更に伴い名称が変更となった。運動器教室全般を「はつらつ倶楽部」から「健康倶楽部」へ、自分の体重を活用した運動を主とする「足しっかり体操教室」を「スロートレーニング教室」へ、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワーリハビリ教室」を「パワーリハトレーニング教室」へ、複合型のプログラムを有した「足腰改善体操教室」を「まるごとトレーニング教室」へ名称が変更となった。

また、一次予防事業で実施していた「パワーリハビリ事業」は、「セルフパワーリハ」に名称変更し継続した。広野地域福祉センターをはじめとする各会場にて実施した。

◆スロートレーニング教室

(実施回数) 176回 <3会場 4グループ×44回>
 (実人数) 175名 (うち二次予防事業対象者は38名)
 (延参加者数) 2,853名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
東宇治A	38	621	44	14.1	545
東宇治B	44	761	44	17.3	382
西小倉	53	800	44	18.2	293
広野	40	671	44	15.3	229
計	175	2,853	176	16.2	1,449

◆パワリハトレーニング教室

(実施回数) 264回 <2会場 3グループ×22回×4クール>
 (実人数) 191名 (うち二次予防事業対象者は22名)
 (延参加者数) 3,236名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
A広野	71	1,161	88	13.2	405
B黄檗	63	1,043	88	11.9	363
C広野	57	1,032	88	11.7	602
計	191	3,236	264	12.3	1,370

◆まるごとトレーニング教室

(実施回数) 88回 <2会場 22回×2クール>
 (実人数) 52名
 (延参加者数) 898名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
あいらの杜	24	436	44	9.9	5
広野	28	462	44	10.5	92
計	52	898	88	10.2	97

3) 通所型短期集中予防サービス

今年度、新たに短期間で集中的に心身機能の向上に取り組むサービスが作られた。先に報告した自宅で支援を行う訪問型サービスと別に通所型として、パワーリハビリ機器を使用し週 2 回全 20 回で実施する「パワーリハぶらすコース」と栄養・口腔ケアの内容を含む週 1 回全 20 回で実施する「トータルぶらすコース」の 2 コースを設定。地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づいて実施した。年度当初に要支援者に宇治市から郵送で案内し参加希望を募った結果、定員を超える応募があり、順に調整・対応を行ったが、想定していたより送迎に負担がかかること、受け入れ決定からサービス担当者会議を経て参加につながるまでに時間を要すること等の課題が生じ、十分な参加受け入れができず、経費に見合う実績をあげることができなかった。今年度の反省を踏まえて、次年度の委託内容の見直しを検討していただいた。

◆パワーリハぶらすコース（黄檗体育館）

(実施回数) 80 回 <週 2 回 20 回×4クール>
 (実人数) 22 名
 (延参加者数) 373 名 (1 回平均 4.7 名)
 (ボランティア) 191 名

◆トータルぶらすコース（宇治愛の郷）

(実施回数) 40 回 <週 1 回 20 回×2クール>
 (実人数) 16 名
 (延参加者数) 263 名 (1 回平均 6.6 名)
 (ボランティア) 57 名

◆事後アセスメント（自宅にて身体機能・生活状況の確認）

(実施件数) 57 件（通所型の終了者）

4) セルフパワーリハ

65 歳以上の利用希望者で、宇治市健康生きがい課で受け付け登録された方が、実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行った。基本的に利用者の自己管理・自主トレーニングであるが、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職員が指導した。

◆実績

会場	実施回数	登録者数	延参加者数
広野	90*	58	4,004

*警報により 1 回中止対応あり

認知症予防事業

1) 認知症予防教室

介護予防事業として、65歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、宇治市の介護予防拠点施設を中心に「頭いきいき教室」を開催し、教室に継続的（年22回）に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を積極的に行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。これまで初めての方を優先してきたが、年数を重ね介護予防事業全体の変更もあり、過去の参加を加味しないこととなったため、リピーターも多く参加された。欠席見込みを昨年度同様とし、定員16名に対して20名程度を受け付けたため、4会場で定員を超える高い参加率となった。

◆実績

（実施回数） 132回 <6会場×22回>

（実人数） 120名 （延参加者数） 2,210名 （定員数 2,112名）

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
あいらの杜	18	273	22	12.4	36
伊勢田明星園	18	328	22	14.9	72
ハーモニーやまはた	20	406	22	18.5	120
ヴィラ鳳凰	22	425	22	19.3	41
宇治愛の郷	20	382	22	17.4	65
リエゾン宇治大久保	22	396	22	18.0	81
計	120	2,210	132	16.7	415

2) 脳活性化教室

前年度に引き続き申込不要の認知症予防事業を、3会場で月各1回ずつの講座を実施した。

月ごとにテーマを決めた講話と脳活性化ゲーム・運動を毎回取り入れ、健康づくりに役立つ内容とし、テーマの中には栄養講話や口腔ケアの内容も盛り込んだ。

脳の健康度チェックとしてファイブコグテストも継続して取り入れたが、自身の認知機能の状況を把握していきいきとした日常を過ごすきっかけに役立てていただく目的で、年間各会場1回ずつとした。

◆実績

(実施回数) 36回 <3会場×12回> (延参加者数) 1,575名

会場	延参加者数	回数	平均参加者数
東宇治地域福祉センター	407	12	33.9
西小倉地域福祉センター	585	12	48.8
うじ安心館	583	12	48.6
計	1,575	36	43.8

地域包括支援センター運営事業

宇治市からの委託を受けて市内3カ所(西宇治、東宇治南、中宇治)にて地域包括支援センターの運営事業を行った。

1) 介護予防支援事業(事業対象者・要支援1・2の方の給付管理)

◆実績

※居宅介護支援事業所への委託件数含む

	西宇治	東宇治南	中宇治	計
予防給付年間給付管理件数	2,386	3,959	2,491	8,836
月平均給付管理件数	198.8	329.9	207.6	736.3
総合事業年間給付件数	139	284	100	523
月平均給付管理件数	11.6	23.7	8.3	43.6

2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計
介護保険サービスに関すること	3,531	4,017	3,656	11,204
成年後見制度に関すること	91	40	1	132
高齢者虐待に関すること	153	196	122	471
その他の権利擁護に関すること	9	42	154	205
相談件数計	3,784	4,295	3,933	12,012
(再掲)ケアマネ支援	77	131	194	402
当年度新規実人数	483	697	522	1,702

3) 小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	5月31日	13	徘徊模擬訓練に向けて 第1回打ち合わせ会議
	7月31日	19	徘徊模擬訓練に向けて 第2回打ち合わせ会議
	9月27日	21	徘徊模擬訓練に向けて 第3回打ち合わせ会議
	1月24日	23	徘徊模擬訓練の振り返り
東宇治南	9月21日	54	地域資源を知ろう 支えあいのまち IN 岡屋 (町内会・自治会編)
	12月4日	50	地域資源を知ろう 支えあいのまち IN 岡屋 (商店、事業所編)
	12月21日	9	事例検討 (認知症の事例)
	1月25日	14	地域資源を知ろう 支えあいのまち IN 岡屋 (資源マップ作製について)
	2月7日	10	事例検討 (迷惑行為を繰り返す男性をどのようにサポートし地域で暮らすか)
	3月22日	11	事例検討 (迷惑行為を繰り返す男性をどのようにサポートし地域で暮らすか)
中宇治	6月29日	14	「認知症プロジェクト設置に向けて1」
	8月10日	19	「認知症プロジェクト設置に向けて2」
	3月13日	13	「認知症プロジェクト設置に向けて3」



【西宇治地域包括圏域で開催の徘徊模擬訓練 (認知症の人の行方不明対応の声掛け訓練) の実施風景】

4) 初期認知症総合相談支援事業

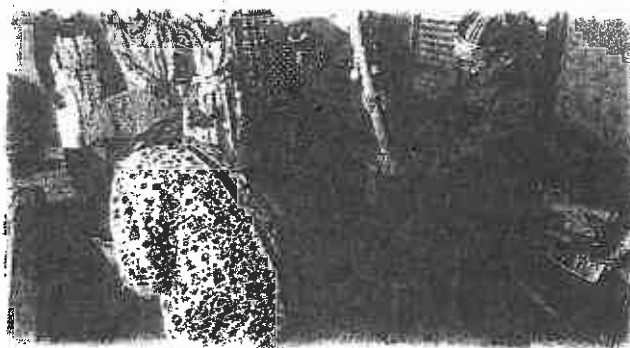
認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士）とアルバイトの看護師1名を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

5年目となる今年度も、全国的にも高い関心と注目を集める認知症対応型カフェ「れもんカフェ」と認知症初期集中支援チームの運営を両輪として、認知症当事者、家族への初期からの支援を行う一方で、認知症サポーター養成研修や認知症を正しく理解するための連続講座の開催等、啓発活動にも引き続き力を入れた。

特に、「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた新たな取り組みとして、医療・介護・福祉・行政に加え、企業・団体等とも連携し、市域全体で認知症の人の視点に立った支援体制の構築を図るために、平成28年3月21日に全国の自治体として初めての取り組みとなる「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”」が始動した。公社はこの事務局機能を担うことになり、年4回の「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”推進協議会」の開催と、れもねいど加盟企業・団体との連携によるモデル事業の実施等にも取り組んだ。そしてその締めくくりとして、平成30年3月21日に「第4回認知症フォーラムinうじ」を開催し、アクションアライアンスの取り組み等について市民、関係者に対して報告を行った。

① 二次予防事業該当者訪問（初期スクリーニング訪問）の実施

宇治市内の二次予防事業該当者のうち認知機能低下に該当する人で、宇治市が開催する介護予防事業への参加がなかった人198名を対象に、訪問による実態の把握と必要に応じて本人支援や家族支援につなぐことを目的に実施したが、うち、介護保険サービスが必要な状態の方も12名おられ、地域包括支援センターに訪問依頼し、住宅改修やデイサービスの利用につながったケースがあった。



【認知症当事者・家族、れもねいどーが餅つきで交流】

② 認知症対応型カフェの企画・管理

これまで北宇治圏域で毎月 1 回開催していたリオス模島でのれもんカフェを、今年度から宇治市全域のれもんカフェと位置づけ、北宇治圏域として別に年 4 回のれもんカフェを開催することとした。このことにより年間の開催回数が 39 回と増えた。

圏域名	開催場所	開催回数	参加者数
全域	リオス模島	12	284
東宇治北圏域	カフェクラリネ ハーモニーやまはた	4	88
東宇治南圏域	東宇治地域福祉センター オーキタ 宝善院	5	141
中宇治圏域	結まあるUji 広野地域福祉センター 宇治教会	5	115
北宇治圏域	小倉明星園	5	96
西宇治圏域	伊勢田明星園 西小倉地域福祉センター	4	94
南宇治圏域	とんがり山のとっぺんDE!	4	44
合計		39	862

③ 認知症初期集中支援チーム事業の実施

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

チームは市内全域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し 57 ケースの訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

④ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院副院長の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。

全 5 回全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行すると共に、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

今年度は、れもねいだーを対象とした講座も別途開催した。

◆【認知症を正しく理解するための連続講座】 受講者数 50 名 れもねいだー登録者数 18 名

開催日	内容
7月 9日	認知症の疾病観（イメージ）を変える①
8月 13日	認知症の疾病観（イメージ）を変える②
9月 10日	認知症を正しく理解する
10月 8日	地域で支える認知症
11月 12日	認知症の人にやさしまち・うじ

◆【れもねいだー講座】 受講者数 47 名

開催日	内容
12月10日	認知症を正しく理解する・地域で支える認知症
1月14日	れもねいだー活動報告・グループワーク・意見交換会

⑤ 京都認知症総合センター機能強化事業「宇治市認知症カフェネットワーク構築」(新規)

平成 30 年 3 月に宇治市内に開設された京都認知症総合センターの機能強化事業として、既存の認知症カフェ(れもんカフェ)と総合センター内に新たに開設される常設型認知症カフェの機能、役割の整理と連携の在り方について、当事者家族や関係機関へのアンケート調査を行い、連携ツールを開発する事業を年度途中で委託を受けて取り組んだ。

⑥ 第 4 回認知症フォーラム in うじの開催

「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”」の進捗状況と「認知症の人にやさしいまち・うじ」に向けた取り組みを市民に報告する場として毎年開催している「認知症フォーラム in うじ」の 4 回目を平成 30 年 3 月 21 日に開催し、250 名を超える市民、関係者等の参加を得た。

午前の部では京都大学大学院生と宇治市、公社とで取り組んだ認知症初期集中支援チームに関する調査研究の報告と別ブースで昨年度より開催した子ども向け認知症サポーター養成講座「こどもれもねいど」を開催した。

午後の部では宇治市の認知症施策の取り組み情報の報告に続き、山本市長にも登壇いただき、れもねいど活動の報告として、行政・当事者・家族、れもねいだー・れもねいど加盟企業より報告を行った。

◆ 開催日 平成 30 年 3 月 21 日(水)

◆ 場 所 宇治市生涯学習センター

◆ 参加者 市民、関係者等 250 名

◆ 内容

《午前の部 基調講演他》

1) 「認知症初期集中支援チームの機能とその効果について～宇治市における調査研究から～」

藤田保健衛生大学教授 武地一氏他

2) こどもれもねいど～れもん先生に聞いてみよう～ 絵本作家 内田潤氏他

《午後の部 フォーラム》

「つながる・ひろがる・ふかまる～認知症の人にやさしいまち・うじの取り組み～」

1) 報告 「宇治市における認知症施策の取り組み」

「当事者評価の必要性について」 京都文教大学 平尾和之先生

2) 実践報告 ①中央図書館 ②当事者・家族 ③京野菜いのうち

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。

1) デイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉		東宇治		広野		計	
	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)
男性	5,956	4,686	4,006	3,746	1,135	638	11,097	9,070
女性	2,774	1,500	3,758	3,159	3,464	1,015	9,996	5,674
計	8,730	6,186	7,764	6,905	4,599	1,653	21,093	14,744

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分 ※()は広野での呼称	西小倉		東宇治		広野		計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	265	4,346					265	4,346
地域交流室(会議室)	393	12,346	508	16,541	151	3,161	1,052	32,048
研修室(介護者教育室)	393	12,346	508	16,541	151	3,161	1,052	32,048
料理教室	264	7,863	154	2,808	32	680	450	11,351
計	1,315	36,901	1,170	35,890	334	7,002	2,819	79,793

3) コミュニティカフェ及び地域福祉のつどい開催

【コミュニティカフェ】

開催日	場所	内容	参加人数
8月27日	西小倉地域福祉センター	大正琴演奏、縁日、パン販売等	124
10月11日	広野地域福祉センター	金管演奏、マジックショー、バザー、軽食	113
10月14日	東宇治地域福祉センター	ハロウィン、縁日、和太鼓演奏	255

【地域福祉のつどい】

開催日	場所	内容	参加人数
2月11日	広野地域福祉センター	地域福祉団体から活動発表、軽食等	113
2月24日	東宇治地域福祉センター	登録団体から小地域活動の実践発表、軽食等	87
3月3日	西小倉地域福祉センター	登録団体から小地域活動の実践発表	70

宇治市生活支援体制整備事業

平成 29 年度より完全実施となった地域支援事業における、要支援者等に対する新たな介護予防サービスのための担い手養成やその担い手による通所型サービスの創設等を行う目的で委託を受けて実施した。

(1) 住民主体の生活支援活動の推進事業

① 通いの場や生活支援サービスの担い手となるボランティア等の養成

○宇治市健康長寿サポーター養成講座（入門編）の開催

一人暮らし高齢者など日常的なサポートが必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、掃除や買い物等の生活支援や居場所等のボランティア活動などの担い手になっていただき、地域住民の暮らしを支えることや新たに地域での活動に参加いただくことを目的に、「健康長寿サポーター養成講座入門編」を 4 回シリーズ（後期開催分については、5 回目に修了式を実施）で前期 2 会場（伊勢田明星園、宇治市役所）、後期 2 会場（たんぼぼハウス、宇治市福祉サービス公社中宇治事業所）の計 4 会場で実施した。

【第 1 期】

会場	伊勢田明星園	宇治市役所
受講者数	19	23
サポーター登録	13	21

【第 2 期】

会場	たんぼぼハウス	公社中宇治事業所
受講者数	7	13
サポーター登録	7	13

○宇治市健康長寿サポーター養成講座（実践編）の開催（訪問型・通所型合同講座）

平成 28 年度と平成 29 年度第 1 期に宇治市健康長寿サポーターとして登録された方を対象に、住民主体通所型サービスや通いの場、あるいは訪問型サービスや助け合い活動等を立ち上げていくために、必要なスキルを学ぶことを目的に、全 6 回の実践編の講座を開催し 25 名が受講された。

○健康長寿サポーターとの意見交換会及び勉強会の実施（つどい）

宇治市健康長寿サポーターが介護予防・日常生活支援総合事業、宇治市生活支援体制整備事業について理解を深め、住民主体型サービスの担い手の他、地域の様々な活動に参加をしたり、主体的に活動に取り組んでいただく意識を高めることを目的につどいを開催した。

また、宇治市健康長寿サポーター同士の交流を深めるために、気軽に立ち寄って、自由におしゃべりしたり、何かを創作したり、イベントを実施したりできるスペースとして、毎月第木曜日の午前 9 時～12 時まで宇治市福祉サービス公社中宇治事業所を開放した。

「おしゃべりサロン」の場を利用して、「通いの場」を具体化していくためにサポーター同士が集まったり、「通いの場」を運営していくために必要なスキルであるレクリエーションについての講座を実施した。

開催日	内容	参加者数
5月31日	1. 健康長寿サポーターの活動報告 2. 意見交換	28
7月26日	1. 意見交換 2. 意見交換内容の発表	25
8月23日	1. 意見交換 2. 意見交換内容の発表	17
9月7日	「おしゃべりサロン1回」	18
3月1日	「おしゃべりサロン2回」	17

② 住民主体型サービスの立ち上げ等に向けた支援

【通いの場】

○平成 28 年度に 2 会場で実施したモデル事業を継続実施するために、勉強会や立ち上げに向けた企画会議を行い、中宇治圏域で6月から放課後デイサービスちやるむを会場に「つどいのえまり（笑舞利）」、東宇治北圏域で7月からハーモニーやはたを会場に「おこしやす」が立ち上がった。

〈つどいのえまり（笑舞利）〉

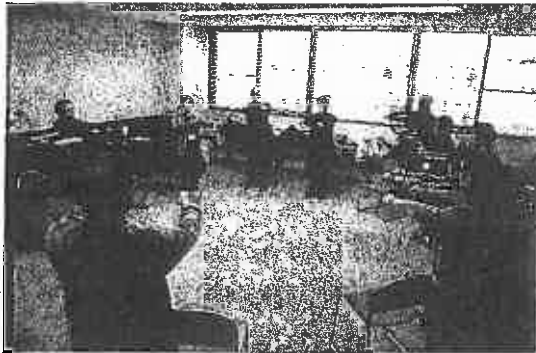


〈おこしやす〉

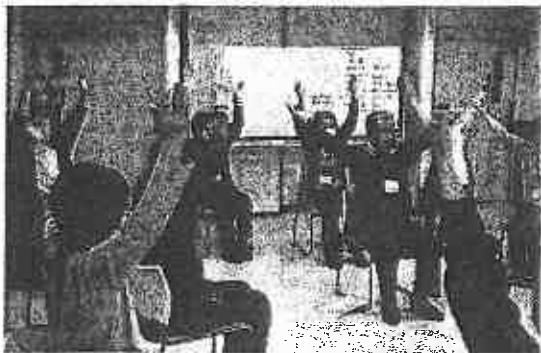


〇つどいで実施してきた通いの場の立ち上げ協議で、2 圏域（西宇治、北宇治）においては継続して協議を行い、西宇治圏域では 1 月から西小倉地域福祉センターを会場に「通いの場かがやき」、北宇治圏域では 3 月からなごみりあ集会所を会場に「通いの場なごみ」が立ち上がり、当面月 2 回で実施することになった。

〈通いの場かがやき〉



〈通いの場なごみ〉



【訪問型】

平成 28 年度にモデル事業として 3 名の要支援者認定高齢者の自宅に宇治市健康長寿サポーターが訪問したが、実施件数として少数であったため、平成 29 年度も新たに 3 名の方に引き続きモデル事業として実施し、計 6 名の方を対象に、掃除、洗濯、買い物等の家事支援を行うため、宇治市健康長寿サポーターが 1 人の対象者につき 2 回の訪問支援を行った。

③ 健康長寿サポーターの管理・活動の場の情報提供

平成 30 年 3 月末時点で宇治市健康長寿サポーターの登録者は 131 名となった。

8 月、12 月に健康長寿サポーター通信の送付の他、宇治市福祉サービス公社介護予防サポートセンター等主催の研修会において情報提供を行った。更に宇治市健康長寿サポーターから寄せられる活動にあたっての相談に対しての支援を行った。

(2) 地域活動団体等の発表の場の企画・調整、支援等

「宇治市健康長寿フェス2018」の開催。

「出会う、つながる、楽しむ、学ぶ」をテーマに、市内の地域活動団体等の展示・発表や健康チェック、手作り工作等の内容で、平成30年2月24日に宇治市生涯学習センターを会場に開催し、延べ450名の市民等の参加を得た。

(3) 第1層協議体及びプレ第2層協議体の運営についての支援

宇治市社会福祉協議会と連携し、協議体の企画、運営の支援を行った。

宇治市生活支援員（通称 39 支援員）養成事業

要支援認定等の高齢者に対して、掃除・買い物・洗濯等の家事のみを支援するサービスが平成29年4月から開始され、その担い手として従事できる方を養成する研修を実施した。

介護保険制度や介護サービス提供時の留意点、コミュニケーション技術、家事援助技術等39時間のカリキュラムを組み、定員20名のところ15名の方が受講され、カリキュラムを修了された。

カリキュラム

【講義】計 19 時間

開催日	科 目
10月27日	(1) 介護保険制度
10月30日	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援
11月1日	(3) 老化の理解
11月6日	(4) 介護職の役割、専門性と多職種との連携・職業倫理
11月8日	(5) 介護における安全の確保とリスクマネジメント
11月10日	(6) 介護におけるコミュニケーション技術
11月13日	(7) 生活援助の方法

【演習・実習】計 18 時間

11月15日	(8) 生活援助の技法① 調理・洗濯・掃除
11月17日	(9) 生活援助の技法② ベッドメイキング 車いす操作、歩行介助
11月20日	(10) 生活援助の技法③ 緊急時対応方法 介護職の心身の健康管理
11月22日	(11) 生活援助の技法④ 事例検討
11月21日～ 12月8日	(12) 訪問介護同行実習

【振り返り】計 2 時間

12月11日	(13) 振り返り・修了式
--------	---------------

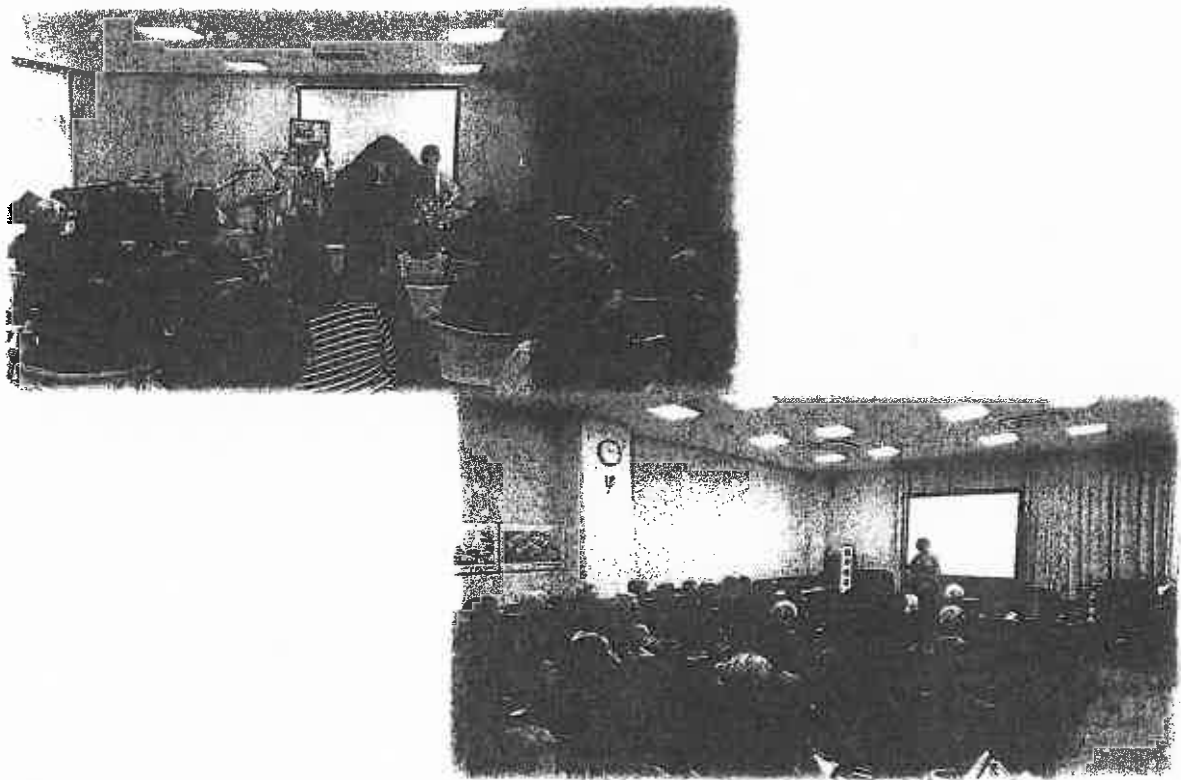
脳活性化事業（歌笑会）

認知症予防事業の一環として市内 3 会場にて、月 1 回の開催により音楽を用いて身体を動かし、懐かしい歌を歌いながら、認知症を正しく理解(ミニ講座)し、楽しく予防する教室を企画・開催し、好評を得た。

なお、各会場とも年間 12 回の開催予定であったが、伊勢田明星園会場においては気象警報発令による中止があり、11 回の開催となった。

◆実績

会場	男性(延べ)	女性(延べ)	未提出者	合計	定員充足率(%)	実人数
伊勢田明星園 (定員 30 名)	53	412	3	468	141.8	98
ヴィラ鳳凰 (定員 40 名)	70	507	5	582	121.3	93
まごころ園 (定員 40 名)	34	345	1	380	79.2	67
計	157	1,264	9	1,430	110.9	258



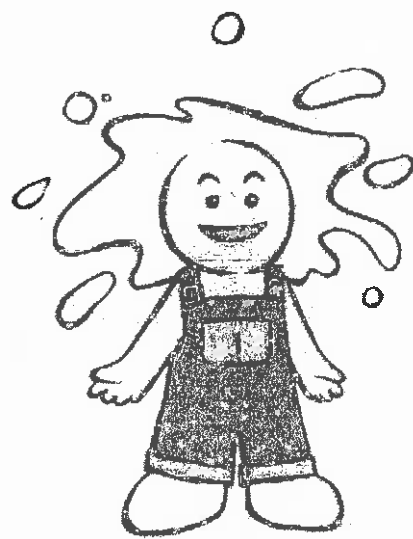
【市内 3 会場で盛況に開催されている歌笑会】

宇治市福祉人材研修事業

宇治市からの受託事業として、市内の介護保険事業者を対象とした研修を実施した。

◆実績

研修名	実施日	参加人数
「宇治市の行政施策とインフォーマルサービスを学ぼう」 「ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイント」	5月19日	42
チームで、自身で「点検してみよう！ケアプラン」 ～課題整理総括表から見えてくるもの～	6月14日	37
認知症を学ぶ 【パート1】 「認知症、その人らしさを支えるケアとは」 【パート2】 「認知症医療、現状とこれから」	【パート1】 7月18日 【パート2】 8月24日	【パート1】 36 【パート2】 48
ケアマネジャーとして「押さえておきたい医療知識」 ～地域での生活を支えるために～	9月14日	35
介護職員のための介護技術研修 「移動・移乗介助を学ぶ！」	10月19日	24
「介護現場に必要な病気の知識、薬の知識」 ～困っていることありませんか～	11月16日	50
精神に障害のある人と共に生きる ～地域で支えあうこと～	12月14日	43
「介護者・家族へのアセスメント」 ～介護負担の軽減にかかる支援とは～	1月19日	29
「障害者の高齢化を考える」 ～障害福祉サービスと介護保険サービスの移行と併用～	2月14日	47



利用者とともに 市民とともに

理事会議案第2号
評議員会議案第1号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社平成29年度決算報告書」について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社平成29年度収支決算を次のとおり報告する。

平成30年5月28日 理事会 提出・承認

平成30年6月19日 定時評議員会 提出・承認

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 岡本 民夫

平成 29 年 度
決 算 報 告 書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

貸借対照表

平成30年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	87,008,706	100,282,154	△ 13,273,448
未収金	119,329,864	113,973,690	5,356,174
立替金	6,460	0	6,460
貸倒引当金	△ 700,000	△ 744,000	44,000
流動資産合計	205,645,030	213,511,844	△ 7,866,814
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
定期)京都銀行	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定財産			
公益目的特定資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	3,562,667	3,562,667	0
建物減価償却累計額	△ 2,244,133	△ 2,151,029	△ 93,104
建物付属設備	13,857,411	12,380,811	1,476,600
建物付属設備減価償却累計額	△ 8,487,011	△ 7,631,168	△ 855,843
什器備品	19,596,212	19,596,212	0
什器備品減価償却累計額	△ 15,397,354	△ 14,046,227	△ 1,351,127
車両運搬具	8,313,750	10,764,785	△ 2,451,035
車両運搬具減価償却累計額	△ 8,313,746	△ 10,764,780	2,451,034
少額減価償却資産	4,735,549	4,735,549	0
少額資産減価償却累計額	△ 4,735,549	△ 4,735,549	0
リース資産	24,827,760	24,827,760	0
リース資産減価償却累計額	△ 20,801,178	△ 15,835,627	△ 4,965,551
ソフトウェア	505,742	779,570	△ 273,828
電話加入権	305,760	305,760	0
構築物	700,000	700,000	0
構築物減価償却累計額	△ 360,879	△ 308,857	△ 52,022
一括償却資産	2,928,429	1,776,368	1,152,061
一括償却資産減価償却累計額	△ 1,568,264	△ 592,122	△ 976,142
その他固定資産合計	17,425,166	23,364,123	△ 5,938,957
固定資産合計	27,425,166	33,364,123	△ 5,938,957
資産合計	233,070,196	246,875,967	△ 13,805,771

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	65,253,612	63,297,569	1,956,043
預り金	8,033,466	4,265,006	3,768,460
法人税等充当金	80,000	80,000	0
賞与引当金	32,824,384	32,440,226	384,158
流動負債合計	106,191,462	100,082,801	6,108,661
2. 固定負債			
リース債務	5,397,204	10,667,340	△ 5,270,136
退職給付引当金	56,916,529	53,069,119	3,847,410
固定負債合計	62,313,733	63,736,459	△ 1,422,726
負債合計	168,505,195	163,819,260	4,685,935

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当金)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	64,565,001	83,056,707	△ 18,491,706
うち基本財産充当額(一般)	10,000,000	10,000,000	0
うち特定財産充当額(一般)	0	0	0
正味財産合計	64,565,001	83,056,707	△ 18,491,706
負債及び正味財産合計	233,070,196	246,875,967	△ 13,805,771

正味財産増減計算書

平成29年4月01日から

平成30年3月31日まで

全事業

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,600	5,600	0
基本財産受取利息	5,600	5,600	0
受取会費	416,000	442,000	△ 26,000
利用会員受取会費	6,000	6,000	0
賛助会員受取会費	410,000	436,000	△ 26,000
事業収益	773,492,380	782,888,051	△ 9,395,671
介護保険収益	425,104,508	433,712,569	△ 8,608,061
介護予防収益	80,278,004	78,957,797	1,320,207
介護保険外収益	76,099,376	83,306,042	△ 7,206,666
利用者負担金収益	56,999,965	59,120,284	△ 2,120,319
福祉情報センター事業収益	790,400	403,100	387,300
受託事業収益	134,220,127	127,388,259	6,831,868
受取補助金	3,243,519	2,305,408	938,111
地方公共団体等補助金	3,243,519	2,305,408	938,111
受取利息配当金収益	845	4,046	△ 3,201
受取寄付金	17,000	50,000	△ 33,000
雑収益	4,588,745	4,700,611	△ 111,866
経常収益計	781,764,089	790,395,716	△ 8,631,627

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	5,306,415	5,331,495	△ 25,080
給料手当	255,233,018	255,526,995	△ 293,977
アルバイト賃金	217,265,343	215,646,055	1,619,288
職員賞与	74,165,263	80,028,719	△ 5,863,456
退職金	9,195,260	8,715,296	479,964
法定福利費	69,804,527	68,286,529	1,517,998
福利厚生費	2,977,820	2,677,720	300,100
給食材料費	10,491,423	10,246,610	244,813
会議費	0	3,412	△ 3,412
旅費交通費	861,120	545,880	315,240
通信運搬費	6,532,752	6,841,122	△ 308,370
消耗品費	7,657,898	8,353,662	△ 695,764
修繕費	3,055,947	3,542,854	△ 486,907
印刷製本費	535,891	861,416	△ 325,525
燃料費	3,820,846	3,455,371	365,475
光熱水費	24,847,409	24,184,641	662,768
支払助成金	500,000	1,950,000	△ 1,450,000
賃借料	13,066,104	12,273,215	792,889
保険料	2,933,614	2,833,768	99,846
諸謝金	2,807,682	2,609,554	198,128
租税公課	625,500	363,000	262,500
支払負担金	1,025,880	516,167	509,713
委託費	38,486,491	36,523,668	1,962,823
備品費	1,211,238	1,161,001	50,237
手数料	275,292	379,770	△ 104,478
使用料	3,819,110	5,445,645	△ 1,626,535
広告料	34,560	224,160	△ 189,600
支払寄附金	0	0	0
雑費	429	2,101	△ 1,672
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
建物減価償却費	93,104	154,211	△ 61,107
建物附属減価償却費	855,843	975,678	△ 119,835
構築物減価償却費	52,022	60,002	△ 7,980
什器備品減価償却費	1,351,127	930,789	420,338
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	0	0	0
リース資産減価償却費	4,965,551	4,965,551	0
一括償却資産減価償却費	976,142	592,122	384,020
ソフトウェア減価償却費	112,476	112,476	0

勘定科目名	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	2,673,285	2,625,405	47,880
給料手当	2,227,984	2,228,112	△ 128
アルバイト賃金	5,108,521	3,634,999	1,473,522
職員賞与	685,434	702,502	△ 17,068
退職金	245,656	227,786	17,870
法定福利費	545,435	547,666	△ 2,231
福利厚生費	2,032,816	1,503,323	529,493
会議費	89,658	146,873	△ 57,215
旅費交通費	100,200	116,020	△ 15,820
通信運搬費	1,185,501	1,352,161	△ 166,660
消耗品費	942,918	1,248,603	△ 305,685
修繕費	195,048	132,084	62,964
印刷製本費	478,158	579,782	△ 101,624
燃料費	34,761	27,426	7,335
光熱水費	1,404,874	1,433,570	△ 28,696
賃借料	1,907,402	1,992,952	△ 85,550
保険料	77,000	66,780	10,220
諸謝金	4,255,721	4,039,496	216,225
租税公課	4,740,250	4,306,850	433,400
支払負担金	690,820	1,218,320	△ 527,500
委託費	4,767,255	4,517,041	250,214
備品費	0	62,834	△ 62,834
手数料	276,365	1,131,726	△ 855,361
使用料	453,226	422,696	30,530
広告料	129,600	0	129,600
支払寄附金	0	0	0
雑費	16,476	8,274	8,202
貸倒損失	0	0	0
ソフトウェア減価償却費	161,352	145,152	16,200
經常費用計	800,368,813	800,739,088	△ 370,275
当期經常増減額	△ 18,604,724	△ 10,343,372	△ 8,261,352

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	149,999	409,999	△ 260,000
固定資産受贈益	0	450,618	△ 450,618
貸倒引当金戻入	44,000	32,000	12,000
経常外収益計	193,999	892,617	△ 698,618
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	10	△ 10
経常外費用計	0	10	△ 10
当期経常外増減額	193,999	892,607	△ 698,608
税引前当期一般正味財産増減額	△ 18,410,725	△ 9,450,765	△ 8,959,960
法人税	80,981	81,472	△ 491
当期一般正味財産増減額	△ 18,491,706	△ 9,532,237	△ 8,959,469
一般正味財産期首残高	83,056,707	92,588,944	△ 9,532,237
一般正味財産期末残高	64,565,001	83,056,707	△ 18,491,706

II. 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III. 正味財産期末残高	64,565,001	83,056,707	△ 18,491,706
---------------	------------	------------	--------------

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
建物付属設備・構築物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法、平成28年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
その他の有形固定資産	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法によっている。
所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
ソフトウェア	定額法

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、未収入金の期末残高に法人税法の規定により計算した金額を貸倒引当金として計上している。

② 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、翌期の賞与支給予定額のうち当期に含まれる支給対象期間に対応する金額を賞与引当金として計上している。

③ 退職給付引当金

当社は、平成16年5月より退職金制度を確定拠出型の中小企業退職金共済制度に移行した。ただし、従来の退職金制度により計算される退職一時金の額が中退共より支給される額を超える場合は不足額が当公社より補填される特約があるため、これに該当する職員については当期末要支給額から中退共よりの当期末支給額を控除した金額を退職給付引当金として計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。但し、リース契約1件当たりのリース料総額が300万以下の取引等については賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定財産				
公益目的特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	10,000,000	0	0	10,000,000

3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
京都銀行 定期預金	10,000,000		(10,000,000)	-
小計	10,000,000	-	(10,000,000)	-
特定財産				
公益目的特定資産	0		0	-
小計	0	-	0	-
合計	10,000,000	-	(10,000,000)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	3,562,667	2,244,133	1,318,534
建物附属設備	13,857,411	8,487,011	5,370,400
構築物	700,000	360,879	339,121
什器備品	15,326,466	11,127,608	4,198,858
車両運搬具	8,313,750	8,313,746	4
リース資産	24,827,760	20,801,178	4,026,582
ソフトウェア	24,171,668	23,665,926	505,742
合計	90,759,722	75,000,481	15,759,241

注) 什器備品の取得価額は地方公共団体補助金による固定資産圧縮額4,269,746円を控除した後の金額である。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	記載区分
社会福祉法人等利用者負担減額金	宇治市	0	3,519	3,519	0	一般正味財産
障害者職場定着支援奨励金	京都労働局	0	240,000	240,000	0	一般正味財産
特定就職困難者雇用開発助成金	京都労働局	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
キャリアアップ助成金	京都労働局	0	1,420,000	1,420,000	0	一般正味財産
障害者雇用安定助成金	京都労働局	0	240,000	240,000	0	一般正味財産
障害者雇用安定奨励金	京都労働局	0	240,000	240,000	0	一般正味財産
特定求職者雇用開発助成金	京都労働局	0	700,000	700,000	0	一般正味財産
合計		0	3,243,519	3,243,519	0	

6. その他

該当なし

貸借対照表に関する注記

実施事業資産は、次の通りである。

(単位：円)

項目	金額
実施事業資産	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に内容を記載しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	744,000	0	0	44,000	700,000
賞与引当金	32,440,226	32,824,384	32,440,226	0	32,824,384
退職給付引当金	53,069,119	3,847,410		0	56,916,529
小 計	86,253,345	36,671,794	32,440,226	44,000	90,440,913

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、預り金、仮受金及び法人税等充当金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	100,282,154	87,008,706
未収金	113,973,690	119,329,864
仮払金	0	0
立替金	0	6,460
合 計	214,255,844	206,345,030
未払金	63,297,569	65,253,612
預り金	4,265,006	8,033,466
仮受金	0	0
法人税等充当金	80,000	80,000
合 計	67,642,575	73,367,078
次期繰越収支差額	146,613,269	132,977,952

正味財産増減計算書内訳表
 一般財団法人宇治市福祉サービス公社
 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計					その他会計					法人会計	内部取引 控除	合計	
	特定寄付	公1 地域力助成事 業	経1 福祉情報 センター	経2 介護予防サ ポートセンター	小計	経1 介護保険事業	経2 配食サービス	経3 障害者支援 センター	経4 地域福祉 センター	経5 共済				小計
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,600	0	5,600
基本財産受取利息					0							5,600		5,600
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	416,000	0	416,000
利用会員受取会費					0							6,000		6,000
賛助会員受取会費					0							410,000		410,000
事業収益	0	0	14,788,789	39,001,674	53,771,633	586,401,598	0	110,876,556	22,498,593	0	719,678,947	0	0	773,348,389
介護保険サービス収益					0	425,104,508					425,104,508			425,104,508
介護予防給付収益					0	36,581,808		43,686,186			80,267,994			80,267,994
介護保険外サービス収益			8,384,059		8,384,059	67,706,317					76,090,376			76,090,376
利用者負担金収益					0	58,888,965					58,888,965			58,888,965
福祉情報センター事業収益			790,400		790,400						0			790,400
委託事業収益			5,585,900	39,001,674	44,587,174			86,880,989	22,498,593		113,868,756	144,800		134,220,127
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,243,519	0	3,243,519
地方公共団体補助金					0							3,243,519		3,243,519
受取利息配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	845	0	845
受取利息配当金収益					0							845		845
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,000	0	17,000
受取寄付金					0							17,000		17,000
雑収益	0	0	19,500	12,500	32,000	2,463,890	0	580,000	0	686,942	3,710,832	845,913	0	4,588,745
雑収益			19,500	12,500	32,000	2,463,890		580,000		686,942	3,710,832	845,913		4,588,745
経常収益計	0	0	14,789,259	39,014,374	53,803,633	588,865,488	0	111,236,556	22,498,593	686,942	723,267,579	845,913	0	781,764,089

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計				その他会計						法人会計	内部取引 控除	合計	
	公1	経1	経2	小計	他1	他2	他3	他4	共通	小計				
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
固定資産売却益			149,999	149,999							0			149,999
固定資産受増益				0							0			0
賞引引当金戻入				0	44,000						44,000			44,000
経常外収益計	0	0	0	149,999	149,999	44,000	0	0	0	0	44,000	0		193,999
(2) 経常外費用														
固定資産除却損				0							0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	149,999	149,999	44,000	0	0	0	0	44,000	0		193,999
税引前当期一般正味財産増減額	0	△ 2,123,758	△ 11,567,848	△ 3,082,129	△ 16,773,735	54,442,576	0	△ 660,196	0	△ 24,666,531	29,115,849	△ 30,752,839	0	△ 18,410,725
法人税					0							80,981		80,981
当期一般正味財産増減額	0	△ 2,123,758	△ 11,567,848	△ 3,082,129	△ 16,773,735	54,442,576	0	△ 660,196	0	△ 24,666,531	29,115,849	△ 30,833,820	0	△ 18,491,706
一般正味財産期首残高					0						0	93,056,707		93,056,707
一般正味財産期末残高	0	△ 2,123,758	△ 11,567,848	△ 3,082,129	△ 16,773,735	54,442,576	0	△ 660,196	0	△ 24,666,531	29,115,849	52,222,887	0	64,565,001
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額				0							0			0
指定正味財産期首残高				0							0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	△ 2,123,758	△ 11,567,848	△ 3,082,129	△ 16,773,735	54,442,576	0	△ 660,196	0	△ 24,666,531	29,115,849	52,222,887	0	64,565,001

監査報告書

平成30年5月15日

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 岡本民夫 様

監事 服部 広志

監事 土肥 誠

私たち監事は、法令及び当公社定款の規定に基づき、一般財団法人宇治市福祉サービス公社(以下「当公社」という。)の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の監査を実施したので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況についての報告を聴取し、また、当公社の事務所において、帳簿並びに重要な書類等を閲覧するとともに、事業報告等及び計算書類等並びに公益目的支出計画実施報告書を受領してその説明を受け、これらについての検討を行いました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2)計算書類及びその付属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書の監査結果

- ① 計算書類及び付属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書は当公社の財産、損益及び公益目的支出計画の実施の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上